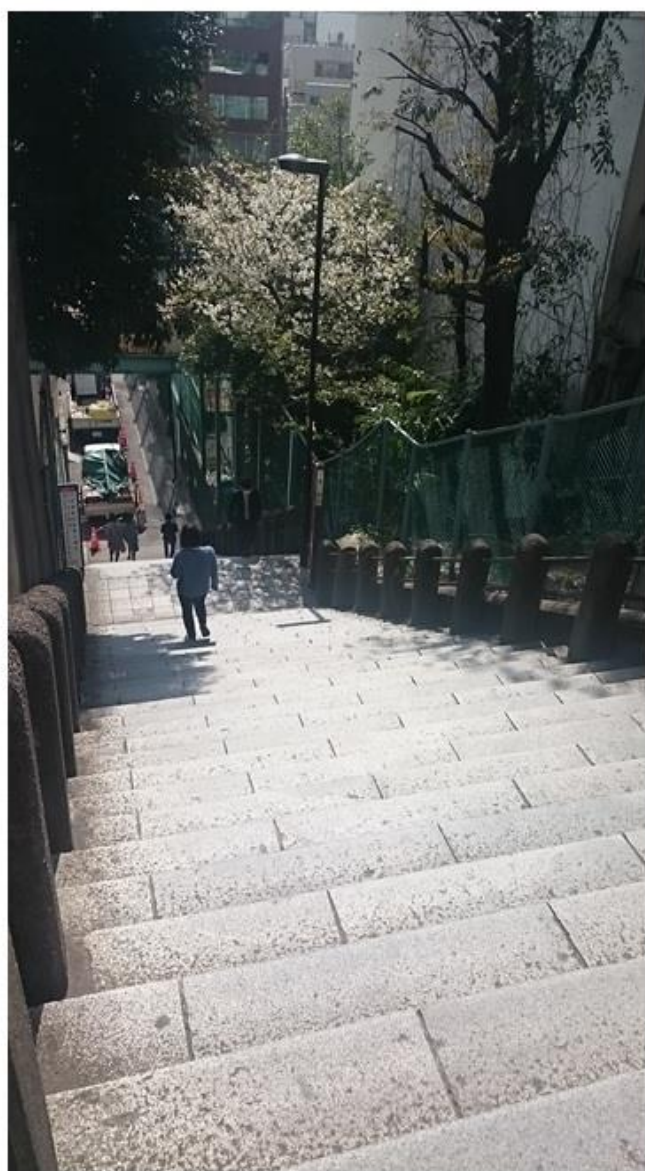


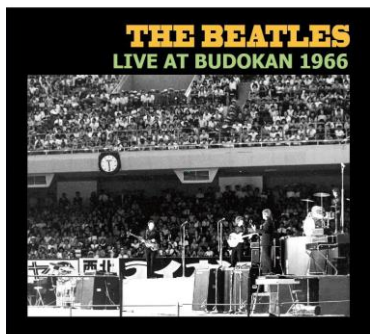
◆ディスクユニオン神保町店が独自に作成したフリーペーパー◆

音読帖



vol. **61**

Disk review



ビートルズ武道館公演こそ そり出てます。

私事ですが、子供が適当にボタンを触る時期を卒業したので、リビングのオーディオ機器をラジカセからミニコンポに格上げしました！高校入学祝いに買ったときは、CDデッキとカセットテープレッキ2台、チューナー、アンプが標準装備でオプションにLPプレイヤーだったので、大きさはLPプレイヤーに合わせて作られてましたから、CDとUSB端子しかない今の時代のコンポのコンパクトさと音の良さに感動しています。本題に移ります。最近、ビートルズ、ストーンズ、ディランのレア音源を出しまくっている「FERRERNA」[GROOVES]から、ザ・ビートルズ「ライブ・アット・武道館 1966」が出ました！そう、社会現象になったあの来日公演です。全5回行った公演のうち、6/30(初演)と7/1(昼の部)2公演目・テレビ放送されたのはこれをそれぞれ1枚に収録した2枚組。MCはもちろん、E.H.エリックによる開演前、閉演後のアナウンス、1曲目「ROCK AND ROLL MUSIC」[直前のチューニングの音も入ってます。]

日本にPAという言葉がなかった時代。現存する最上級の音源とはいえ正直音は良くはありませんし、本人達もかき消されて演奏の音が聞こえなかったと言ってます。黄色い歓声が大きいです、その場に居たらこういう聴こえ方だったのだと思えば、リアルで最高です。当時会場で見たといい幸運な方、テレビで見たという羨ましいリアルタイムな方はもちろん、全ロックファンにお薦めです。新しく買ったミニコンポを組み立てて最初にかけたCDが、音の良さを楽しむものではなかったけど最高！という話でした。

▼ビートルズ/LIVE AT BUDOKAN 1966 武道館 1966 (2CD)/ETERNAL GROOVES ES/3,024円(税込) (篠木)



古楽界の鬼才、濱田芳通初 の著書！

私が尊敬、敬愛、崇拜(一)してやまないリコーダー&コルネット奏者、そして指揮者としても活躍の濱田芳通、初の著書！ちょうど2年前の秋、東京カテドラル聖マリア大聖堂で私は合唱団の一員として「モンセラートの朱い本」という中世スペインの宗教曲を濱田氏率いる古楽アンサンブル「アントネッロ」と一緒に唄いました。演奏が終わるとブラボーの嵐が起こり客席総立ち、まるでロックのコンサートのように聴衆は興奮して会場中が沸き立ちました！600年以上昔の音楽ですよ？！人々を熱狂させる音楽を生み出す濱田芳通・・・天才、鬼才としか思えない！

どこからそのインスピレーションやアイデアが生み出されるのか・・・この本の中にヒントが隠されているかもしれません。ファンク、ミュージカル、牛深ハイヤ節、アストラッド・ジルベルトなどなど・・・クラシック以外のジャンルと古楽を緻密に融合させ、それが唯一無二のグルーヴィーでファンキーな音楽になっているのでしょうか。個人的には「往年の巨匠たち」の章で濱田氏の好きな指揮者や演奏家の話がタププリ読めるところが好きです。最後はテレマンの言葉でしめくられています。「歌うこと、それは音楽すべてにおける基本。(中略)楽器を奏でんとする人は、歌の心を究べし」真の音楽とは？歌心とは？気になる人は要チェックな一冊です！

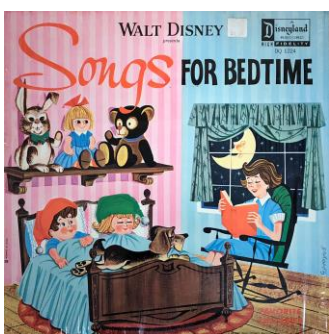
▼歌の心を究むべし／濱田芳通／アルテスパブリッシング／2,200円(税別) (仲)

音盤コラム

SURFACE NOISEに首 ったけ No.25

厳しい残暑を感じることなく夏は

終わったように感じ(実際はそんな事なく、たまたま休みの日に雨が多かったのかも)、日に日に秋が深まってきています。今年の夏はかなりレコードを買ったが聴き込めていない盤がまだまだたくさん。。。冬までに一旦リセットすべきと思い、今年の秋は2017年買ったレコードを聴き込むことを目標とします！つまり、10月〜12月はレコード買いすぎない月間。これぞというトップウォントのみ厳選したいと考えてます。



この素晴らしいジャケットは、Disneyland RECORDSレーベルより1964年にリリースされた『Songs FOR BEDTIME』。いわゆる子ども向けのレコードで子守歌のオムニバス。内容はアメリカではポピュラーと思われる子守歌。子守歌の代表的ブライムスの子守歌も収録されて

います。HIGH FIDELITYとレーベルロゴ下にあるようにダイナミックレンジも広く品位のある音である。アメ盤特有のずっしりとしたレコード盤はペラペラな70年代後半のレコード盤より心なしか安心感が違う。

現在、私はテクニクスSL1200 MK5をアキュフェーズのプリアンプ213にフォノイコホードを増設してB&Wノーチラスから鳴らしているシステムを組んでますが、プレイヤーそのものを少し古いモノにしてレコードを聴きたくなっていきます。インターネットや書籍に多数のヴァインテージプレイヤーの情報が出ていますが実際には聴いたことがないので一度体験してみようと思う。テクニクスSL1200は本当に素晴らしいプレイヤーで、それこそ世界的なDJ達からも厚い信頼がありますね。一部のオーディオ狂の方々にはDJ用の機材なんて、っておっしゃる方もいると聞きますが、実にフラットな特性でどんなレコードも鳴らしてくれます。15年ほど前に小生DJに憧れている期間がありまして、その時に

購入したオルトフォン・コンコルド・スクラッチで最近レコードを聴いています。流石のオルトフォン！低域が若干ブーミーに聴こえますが、とてもバランスの良い音で音楽を鳴らしてくれます。



ディスクユニオンの偉大な先輩方に相談したところ、SL1200は名機なのでヴァインテージ盤も現行盤も80点以上で鳴らしてくれる。それに比べてヴァインテージは鳴らすのが難しい。けど、そこが楽しい。と今のシステムのままカートリッジやケーブルを替えて音を楽しむか、一発ヴァインテージプレイヤーを買ってしまうか！の二つで揺れ動いています。今回は今月書きましたディスクユニオンレコードのコレクションを書いたらと考えています。それでは、皆さま素晴らしい音楽

ライフを。

(暴れはっちゃん超太郎)

連載コラム

インダストリアル・ノイズについて

《スロッピング・グリッスル2》

彼らの活動を突き動かしている何かに迫るためには、やはり彼の発言から考察して見る必要があるでしょう。スロッピング・グリッスルのリーダーであるジェネシス・P・オリッジはこのような言葉を残しています。

『われわれはタブーに関心があ。音が、ノイズ変わるところ、ノイズ、音楽が変わるところ、エンターテインメントが苦痛になるところ、苦痛が、エンターテインメントに変わるところ、そこに境界が、あ。』
彼らはどうやら何かと何かの間に挟み込まれる「境界」、そしてそれを攪乱するというところに心を寄せていたようです。確かに彼らの音楽を聞いてみると、それがノイズなのか音楽であるのか、といった判断は難しいでしょう。ま

た、そのノイズは確かな迫力でもって差し迫ってくるため、聴衆としての我々は恐怖ともとれる感覚を覚えるでしょう。

しかしこのことは何を意味するのでしょうか。境界の攪乱、恐怖の感覚、これらは音楽においていかなる意味を持ったものなのでしょう。

ポール・ヘガティという学者が、『ノイズ／ミュージック』という著作の中でここに一つのヒントを与えています。すなわち「インダストリアル・ミュージックは、革新的な至高性の思想のように、革命ではなく侵犯に、社会の改良ではなく一時的で、ばらばら不安定に固執するゆえに、解決できな不定性に生きることを切望する。』と。

どうやらこのジョルジュ・バタイユという人物の思想は、我々に多くの事を語ってくれているでしょう。ここで一旦音楽を離れ、次号、バタイユの思想について考察を試みます。(篠崎奏平)

ナカさんの寄席日記

先日、柴又と浅草にプチ観光に行きました。(何を隠そう「寅さんファン」なんです)帝釈天でお御籤を引いたら、情けないことに字が読めず「おの：おの：おのの：おのの：おのの」が「おののが我意の実強かりした」と書いてあった。それから浅草の今戸焼というのは餡子が入った今川焼みたいなものだと思ったり：「権助かよ！とセルフつつこみ)。落語の聴きすぎで、とうとう自分まで落語の登場人物みたいになってきちゃったなあ、と思った次第です。

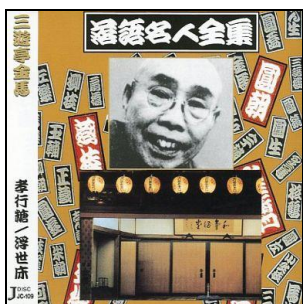
文字が読めない人の嘸といえは「手紙無筆」や「目薬」がありますが、私が好きなのが「浮世床」です。浮世床という嘸はいくつかの小咄を合わせてそう呼びますが、無筆の源ちゃんが髪結床で仲間に「大間記」を読む嘸、ばかばかしくて楽しいです。「威勢のいいところ、抜き読みしてくれよ！」と冷やかされ姉川の合戦を読み始めますが「あ



ねっ、あねっ…」まったく先に進みません。「敵にムカムカ、ムカツイテ…向かってまつこう…まつこう…マツコウ…」松公、お前呼ばれてるよ、返事してやれよ！」この字がスムーズに読めない感じ、ちょっとラップっぽい。リズム感いい

い嘶家さんだといっそう笑えます。二つ目の春風亭一左さんのがテンション高くテンポ感あって好きです。春風亭百楽師匠のちょっと鼻に抜ける舌足らずでフニャっとした感じのも可愛いので好きです。昔は無筆とか文盲とか字が読めない人は結構いたようですが、今の時代でも逆にパソコンやスマホが発達しているので読み書きがアヤシクなってきましたよね。私も源ちゃんをバカにできません…(笑)

来年の初詣こそはお御籤くらいイラストラ読めるようにしたいものです。(仲綾子)



◎落語名人全集／三遊亭金馬／孝行糖・浮世床／JC-109

★落語CD・DVD・関連本・レコードなど高価買取いたします！

9月の神保町店

新譜販売トップ3!

注目の神保町ランキング！9月のトップ3は…

【第一位】おとといフライデー「もしやこいつはロマンチックのしっぽ」



【第二位】ザ・ペンフレンドクラブ

「Best Of The Pen Friend Club 2012-2017」



【第三位】姫乃たま「もしもし、今日

はポンチャック」



9月はインスタイベントでの販売商品が並びました。イベント以外でのTOP3は、野佐怜奈神保町店限定アイテム、小沢健二「ユージングル」、ESOTERIC新作「シューベルト」死と乙女 ロザムンデ」となり、こちらも激戦でした。

買取キャンペーン!

CD・DVD・Blu-ray(ブルーレイ)・音楽本 買取20%UP
ボーナスプラスキャンペーン開催! 10/14(土)〜11/13(月)

DVD・ブルーレイ・音楽本
CD買取査定
10点以上で
20%UP
キャンペーン
ボーナスプラス
まとめて50タイトル毎に5,000円贈呈!
100タイトル以上 10,000円贈呈! 150タイトル以上 15,000円贈呈!
キャンペーン期間
2017.10.14(土)〜11.13(月)
レコード買取査定 10%UP
レコード買取10点以上で査定査定額10%UP

○CD・DVD・Blu-ray(ブルーレイ)・音楽本を期間中まとめて10点以上お売りいただくと、通常査定に20%プラスして買取いたします!

さらに通常査定額1000円以上のアイテム50枚ごとに5,000円のボーナスを加算してお支払いいたします。

この機会に大量のご売却ご検討ください!
※アナログ盤レコードはボーナスプラスキャンペーンの対象外となります。

■レコード買取10%UPキャンペーンも同時開催■

○レコードを期間中まとめて10点以上お売りいただくと、通常査定に10%プラスして買取いたします!

※詳しくは店頭、またはお電話メールなどでお尋ねください!

CD・レコードの中古買取は50年の査定実績、安心信頼のディスクユニオンにお任せください。

ディスクユニオン神保町店

買取センター

フリーダイヤル

0120-071-660

編集後記

先月「60号目です!」と編集後記に書いたところ、お客様よりお祝いのメールをいただきましてとても嬉しかったです! 創刊時より読んでいただいているとのこと。いつまでも神保町店のファンでいていただけますよう、スタッフ一同

益々精進いたします! 最近の観劇モンテヴェルディのオペラ「ポツペア」、文楽「玉藻前曦袂」、今日は歌舞伎「霊験亀山鉾」見てきました! 片岡仁左衛門の色悪っぷり、かっこよすぎです! 歌舞伎にも

はまりそうです。これ以上観劇増えたら節約するところは食費でしょうか…でも好奇心に蓋をすることはできません! 幅広く知り、興味あるものは掘り下げるといふスタンスで音楽も芸能も邁進します! ではまた来月〜♪

音読帖 第六十一刊

発行日 二〇一七年十月十一日

編集・発行元 ディスクユニオン神保町店

このフリーペーパーに関するお問い合わせはこちらまで。

お問い合わせはこちらまで。

お問い合わせはこちらまで。

お問い合わせはこちらまで。

お問い合わせはこちらまで。

お問い合わせはこちらまで。

お問い合わせはこちらまで。